



## 2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月8日

上場会社名 BEENOS株式会社  
コード番号 3328 URL <https://www.beenos.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 直井 聖太  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松田 久典  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
TEL 03-6859-3328

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	16,077	9.9	672	61.3	649	54.7	229	72.0
2023年9月期第2四半期	14,631	4.6	1,737	238.2	1,435	223.0	819	207.3

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 384百万円 ( %) 2023年9月期第2四半期 3,990百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	18.94	18.42
2023年9月期第2四半期	66.17	62.73

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第2四半期	29,500	13,186	44.0	1,068.34
2023年9月期	27,911	13,010	45.8	1,060.34

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 12,969百万円 2023年9月期 12,789百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		27.00	27.00
2024年9月期		0.00			
2024年9月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	24.6	2,100	53.4	1,800	55.6	1,560	29.0	128.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、P5(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	12,931,295 株	2023年9月期	12,876,995 株
期末自己株式数	2024年9月期2Q	791,333 株	2023年9月期	814,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	12,099,108 株	2023年9月期2Q	12,381,629 株

(注)信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)の導入により、期末自己株式数には、BEENOS従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております(2023年9月期 8,300株)。また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、テクノロジーの力とこれまでに培ったグローバルコマースの知見をいかし、人・モノ・情報とグローバルコマース市場を繋ぎ、新しい常識や可能性を提供し続ける「グローバルプラットフォーマー」を目指しております。

今期は各事業領域において「グローバルコマース：AIを用いたBuyeeサービスの改善とオペレーションコストの低減、積極的なプロモーション展開による流通拡大」、「エンターテインメント：オペレーションのシステム化（自動化）を進めることによる利益率の改善」をそれぞれ目指しております。

バリューサイクル部門は今期、「新規買取店舗の出店と、データを用いた適正価格での買取と販売の実施による利益率の改善」を目指しておりましたが、2024年2月14日付「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」及び2024年4月30日付「（開示事項の経過）連結子会社の異動（株式譲渡）完了並びに特別利益計上見込みに関するお知らせ」で開示しました通り、本セグメントを構成する2社の譲渡が完了しております。よって、本セグメントは当第2四半期連結累計期間をもって当社の連結の範囲から除外されます。

当第2四半期連結累計期間においては、Eコマース事業においては、グローバルコマース部門は、キャンペーンを展開する上で費用対効果の高いキャンペーンを積極的に実施することで流通総額の伸長と同時に利益率の改善を図り、バリューサイクル部門は、買取店舗の新規出店を進めると共に売上高総利益率の改善に向けた買取・販売施策を実施しました。また、エンターテインメント部門は、取扱いアーティストによる大型イベントに関連したグッズ販売及びGroobee（グルービー）での導入先のグッズ販売が好調に推移し流通総額が伸長しました。インキュベーション事業においては、営業投資有価証券の売却はなく、営業投資有価証券の評価による引当及び減損が発生しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の流通総額（国内外における商品流通額）につきましては58,862百万円（前年同期比26.6%増）、売上高は16,077百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は672百万円（前年同期比61.3%減）、経常利益は649百万円（前年同期比54.7%減）親会社株主に帰属する四半期純利益は229百万円（前年同期比72.0%減）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①Eコマース事業

##### i) グローバルコマース

「海外転送・購入サポート事業（FROM JAPAN）」におきましては、Buyeeにおいてマーケティングツールの活用によりキャンペーンを緻密に管理したことにより、流通総額の増加基調を維持しつつ流通総額対比の営業利益率が第1四半期と比較しさらに改善しました。提携しているECサイトや商品カテゴリー毎の商品金額の割引などの購入促進に繋がる積極的なクーポン施策などのキャンペーンを行ったことに加え為替の追い風も受け、流通が拡大し売上高が順調に推移しました。

また、AIを用いて、検索機能の拡充などBuyeeサイトのUI/UX改善を行うとともに、流通総額の増加に対して販管費の増加を抑制するためにオペレーションコストやサーバー費用の低減施策を実施しました。さらに、既存のECサイトへのタグ設置のみで海外販売を可能にする越境購入サポートサービス「Buyee Connect」では、当第2四半期に株式会社オッジ・インターナショナルの運営するファッションショッピングサイト“ダーバン公式オンラインストア”や株式会社あえかが展開する“louren公式オンラインストア”に導入されるなど、導入企業が拡がりました。

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、ショッピングサイト「セカイモン」において新たにイタリアの“eBay”サイト商品の取り扱いを開始し商品供給力を強化しました。また、キャンペーン施策やSEO対策をはじめとしたマーケティング施策を積極的に行い流通の拡大を図りましたが、引き続き為替が円安傾向であったことが影響し、ユーザーの需要が低下している状況が続きました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の流通総額は43,226百万円（前年同期比30.9%増）、売上高は6,938百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益は2,076百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

##### ii) バリューサイクル

「ブランド・アパレル買取販売事業」におきましては、買取面では、ブランドバッグなど高価格帯商品の取扱い

を強化するため買取専門店「ブランディア」の出店を進め、2024年3月に「ブランディア自由が丘店」をオープンし、首都圏で10店舗、全国で17店舗となりました。また、引き続きSEOやMEOなどの改善や買取強化施策を適正コスト内で実施するとともに、一部の高価格帯商品については相場の状況を鑑み各買取チャネルにおいて買取のコントロールを行いました。

販売面では、在庫の回転期間を意識し高価格帯商品の販売を積極的に実施したことで売上高が伸長しました。また、買取及び販売価格の適正化により、当第2四半期においては、第1四半期対比で売上高総利益率が改善したことに加え販促費の圧縮によるコスト削減等により営業利益が増加しました。

「酒類の買取販売事業」におきましては、買取面では、買取強化のために2024年2月に東北地方への初出店となるお酒買取専門店「JOYLAB仙台店」をオープンし、全国10店舗となりました。また、市場環境の変化に対応しながら随時買取価格の適正化を図ったことで国産ウイスキーやワインといった主力商材の買取が増え、全体の買取高が向上しました。

販売面では買取が好調だった国産ウイスキーを中心にECモールでの販売が好調に推移しました。特に国産ウイスキーは相場が上昇する中、販売が伸長し、売上を牽引しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の流通総額は8,267百万円（前年同期比17.7%増）、売上高は8,387百万円（前年同期比18.6%増）、営業損失は63百万円（前年同期は営業利益60百万円）となりました。

なお、冒頭に記載の通り本セグメントは当第2四半期をもって当社の連結の範囲から除外されます。

### iii) エンターテインメント

「エンターテインメント事業」におきましては、当社の取り扱うアーティストにおいて大型公演や大型イベントが実施されたことでグッズ売上やCD販売が順調に推移し、流通総額が増加しました。

エンターテインメント業界向けに特化したECプラットフォーム「Groobee」は、当第2四半期に新たに株式会社サン・アローの“サン・アロー公式オンラインショップ”の制作・運営サポートを開始するなど、導入企業が順調に増加しました。また、社内オペレーションのシステム化を進め効率化を図ったことにより、赤字幅が縮小しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の流通総額は7,071百万円（前年同期比19.4%増）、売上高は693百万円（前年同期比18.8%増）、営業損失は35百万円（前年同期は営業損失125百万円）となりました。

Eコマース事業全体では、当第2四半期連結累計期間の流通総額は58,541百万円（前年同期比27.4%増）、売上高は16,019百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益は1,977百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

## ② インキュベーション事業

インキュベーション事業におきましては、当第2四半期に当社及び当社の連結子会社が保有する営業投資有価証券からの受取配当として約2百万円を計上しましたが、投資先企業の評価の引き下げ等により減損損失が発生しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2百万円（前年同期比99.7%減）、営業損失は244百万円（前年同期は営業利益736百万円）となりました。

## ③ その他事業

海外の大手マーケットプレイスへの日本企業の出店を支援する「越境EC支援事業」につきましては、引き続き“Shopee”や“eBay”などの海外マーケットプレイスへの出店、カスタマーサポート、海外配送対応、決済対応など幅広いサービスをワンストップで提供しております。また、一部海外マーケットプレイスでの出品カテゴリー規制の影響等により流通総額が減少しました。

海外人材雇用をテクノロジーで支援するSaaS型越境HRプラットフォーム事業につきましては、特定技能の支援業務管理システム「Linkus」において既存機能のリニューアルと新機能のリリースを実施しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の流通総額は408百万円（前年同期比44.5%減）、売上高は334百万円（前年同期比18.6%減）、営業損失は520百万円（前年同期は営業損失445百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の分析

## (i) 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,588百万円増加し、29,500百万円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が24,139百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,406百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金1,425百万円の増加であります。

また、固定資産合計は、5,361百万円となり、前連結会計年度末と比べ182百万円の増加となりました。その主な要因は、投資有価証券126百万円の増加であります。

## (ii) 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ1,412百万円増加し、16,314百万円となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が15,691百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,630百万円の増加となりました。その主な要因は、預り金776百万円、未払金546百万円、未払法人税等492百万円の増加、1年以内返済予定長期借入金247百万円の減少であります。

一方、固定負債合計は、623百万円となり、前連結会計年度末と比べ218百万円の減少となりました。その主な要因は、繰延税金負債129百万円、長期借入金100百万円の減少であります。

## (iii) 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ176百万円増加し、13,186百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定95百万円、その他有価証券評価差額金60百万円の増加であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、別途開示していますバリューサイクル事業2社の譲渡及び当第2四半期連結累計期間までの実績等を踏まえ、以下のとおり修正します。

		期初発表予想	今回修正予想	増減額	前期実績 (参考)
連結	流通総額	1,175.0億円	1,080.0億円	▲95.0億円	1,007.5億円
	売上高	336.2億円	245.0億円	▲91.2億円	325.0億円
	営業利益	28.3億円	21.0億円	▲7.3億円	45.0億円
	純利益	15.6億円	15.6億円	—	21.9億円
グローバルコマース	流通総額	835.0億円	840.0億円	5.0億円	706.8億円
	営業利益	41.8億円	41.2億円	▲0.6億円	36.6億円
エンターテインメント	流通総額	154.0億円	154.0億円	—	144.3億円
	営業利益	0.7億円	0.5億円	▲0.2億円	▲1.0億円
バリューサイクル	流通総額	167.0億円	82.6億円	▲84.3億円	148.8億円
	営業利益	3.2億円	▲0.6億円	▲3.8億円	▲0.5億円
インキュベーション	営業利益	0.0億円	0.0億円	—	29.7億円
その他事業	流通総額	21.0億円	10.0億円	▲11.0億円	11.1億円
	営業利益	▲7.1億円	▲8.8億円	▲1.7億円	▲10.1億円
調整額	営業利益	▲10.3億円	▲11.3億円	▲1.0億円	▲9.5億円

## ① グローバルコマース

流通総額については、上期の順調な進捗を踏まえ通期でも増加を見込んでおりますが、営業利益面では外形標準課税の適用予定により租税公課が増加するため下振れの予想に修正しています。

## ② エンターテインメント

流通総額については、期初業績予想からの変更はなく、営業利益については、上期販売実績の利益率を考慮し、修正しています。

## ③ バリューサイクル

ブランド・アパレル買取販売事業及び酒類の買取販売事業の譲渡に伴い、下期より当社連結から除外されるため上期実績分のみ反映しています。

## ④ インキュベーション事業

期初業績予想からの修正はありません。

## ⑤ その他事業

期初業績予想策定時と比べ越境EC支援事業において進捗の遅れがあり下振れの修正としており、また本セグメント内の事業につきましては、コストコントロールと事業性を見極めを慎重に行いつつ事業開発を進める方針です。

## ⑥ 調整額（セグメント間取引の消去、全社費用等）

バリューサイクル部門譲渡関連費用の追加及び工期延長に伴う本社移転費用の増加を考慮し、修正しています。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,648	12,073
受取手形及び売掛金	1,367	848
営業投資有価証券	3,998	3,854
商品	2,650	2,128
未収入金	1,211	2,442
その他	2,929	2,864
貸倒引当金	△73	△73
流動資産合計	22,733	24,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	783	822
減価償却累計額	△439	△459
建物及び構築物(純額)	344	362
工具、器具及び備品	271	283
減価償却累計額	△196	△211
工具、器具及び備品(純額)	75	71
その他	42	42
減価償却累計額	△19	△22
その他(純額)	22	20
有形固定資産合計	442	455
無形固定資産		
ソフトウェア	297	338
その他	0	0
無形固定資産合計	297	339
投資その他の資産		
投資有価証券	2,983	3,109
繰延税金資産	910	1,033
その他	544	423
投資その他の資産合計	4,438	4,566
固定資産合計	5,178	5,361
資産合計	27,911	29,500



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54	27
短期借入金	4,250	4,250
1年内返済予定の長期借入金	647	400
未払金	6,822	7,368
預り金	996	1,773
未払法人税等	254	747
その他	1,034	1,124
流動負債合計	14,060	15,691
固定負債		
長期借入金	300	200
繰延税金負債	295	166
資産除去債務	223	234
その他	22	22
固定負債合計	841	623
負債合計	14,901	16,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,775	2,812
資本剰余金	2,954	2,981
利益剰余金	7,256	7,159
自己株式	△1,566	△1,509
株主資本合計	11,421	11,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△215	△155
為替換算調整勘定	1,584	1,679
その他の包括利益累計額合計	1,368	1,524
新株予約権	220	216
純資産合計	13,010	13,186
負債純資産合計	27,911	29,500

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
売上高	14,631	16,077
売上原価	7,354	9,556
売上総利益	7,277	6,520
販売費及び一般管理費	5,539	5,847
営業利益	1,737	672
営業外収益		
受取利息	2	7
持分法による投資利益	—	58
助成金収入	1	0
受取保証料	9	3
その他	19	23
営業外収益合計	32	92
営業外費用		
支払利息	9	7
持分法による投資損失	125	—
為替差損	198	87
支払手数料	0	—
投資事業組合運用損	0	10
その他	0	9
営業外費用合計	335	115
経常利益	1,435	649
特別利益		
新株予約権戻入益	4	9
特別利益合計	4	9
税金等調整前四半期純利益	1,440	659
法人税、住民税及び事業税	667	710
法人税等調整額	△46	△280
法人税等合計	620	429
四半期純利益	819	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	819	229

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	819	229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,498	60
為替換算調整勘定	△298	91
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	3
その他の包括利益合計	△4,809	155
四半期包括利益	△3,990	384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,990	384
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,440	659
減価償却費	94	94
のれん償却額	52	—
株式報酬費用	60	50
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△132
受取利息及び受取配当金	△2	△7
支払利息	9	7
為替差損益 (△は益)	△1	△6
持分法による投資損益 (△は益)	125	△58
投資事業組合運用損益 (△は益)	0	10
新株予約権戻入益	△4	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	31	717
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△354	134
棚卸資産の増減額 (△は増加)	146	525
未収入金の増減額 (△は増加)	△690	△1,228
仕入債務の増減額 (△は減少)	△303	△27
未払金の増減額 (△は減少)	△27	534
預り金の増減額 (△は減少)	489	776
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23	0
その他	898	495
小計	1,940	2,536
利息及び配当金の受取額	61	5
利息の支払額	△9	△7
法人税等の還付額	746	106
法人税等の支払額	△2,083	△607
営業活動によるキャッシュ・フロー	655	2,033
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△74	△37
無形固定資産の取得による支出	△52	△98
投資有価証券の取得による支出	△137	△35
敷金及び保証金の差入による支出	△29	△9
敷金及び保証金の回収による収入	15	1
投資事業組合からの分配金による収入	43	103
その他	△60	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△294	△75

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	733	—
長期借入金の返済による支出	△200	△347
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	48	11
ストックオプションの行使による収入	54	16
配当金の支払額	△308	△324
財務活動によるキャッシュ・フロー	326	△643
現金及び現金同等物に係る換算差額	△92	30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	595	1,345
現金及び現金同等物の期首残高	10,019	11,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,615	12,578

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

II 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	その他事 業	合計		
	グローバ ルコマー ス	バリュー サイクル	エンター テインメ ント	小計					
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	5,951	7,026	583	13,562	—	252	13,814	—	13,814
その他の収 益(注) 1	—	—	—	—	816	—	816	—	816
外部顧客へ の売上高	5,951	7,026	583	13,562	816	252	14,631	—	14,631
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	14	45	0	60	—	158	219	△219	—
計	5,966	7,072	583	13,622	816	411	14,850	△219	14,631
セグメント利 益又は損失 (△)	1,968	60	△125	1,903	736	△445	2,195	△457	1,737

(注) 1. その他の収益には、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)に基づく営業投資有価証券に関する収益が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△457百万円には、セグメント間取引の消去△22百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益169百万円及び全社費用△604百万円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	その他事 業	合計		
	グローバ ルコマー ス	バリュー サイクル	エンター テインメ ント	小計					
売上高									
顧客との契 約から生じ る収益	6,917	8,323	693	15,933	—	140	16,074	—	16,074
その他の収 益(注) 1	—	—	—	—	2	—	2	—	2
外部顧客へ の売上高	6,917	8,323	693	15,933	2	140	16,077	—	16,077
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	21	64	0	85	—	193	279	△279	—
計	6,938	8,387	693	16,019	2	334	16,356	△279	16,077
セグメント利 益又は損失 (△)	2,076	△63	△35	1,977	△244	△520	1,212	△540	672

(注) 1. その他の収益には、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)に基づく営業投資有価証券に関する収益が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△540百万円には、セグメント間取引の消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益167百万円及び全社費用△703百万円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。